

幼稚園だより

1月号

令和7年 1月 9日

荒川区立花の木幼稚園
園長 竹下 佳余

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

園長 竹下 佳余

新しい年を迎え、心新に動き出す1月です。冷たく澄んだ空気の中で、福寿草、水仙、寒桜、寒椿、臘梅が強く美しく咲く季節がやってきます。

令和7年「巳年」が幕を開けました。蛇は一見怖いと感じる動物ですが、神様の使いとも言われ大切にされてきた動物です。また、成長と共に脱皮を繰り返す特徴から、「新しく新鮮な気持ちで物事に挑戦する」意味のシンボルともなっています。子供の頃、蛇の抜け殻を拾ってお財布に入れた経験があります。財が増すと聞いてのことでした。結果はまだ顕著に表れておりませんが、金運だけでなく、よいことが増えていく予感がいたします。2025年も園児と共に実り豊かな園生活を実現できるよう、教職員一同力を合わせてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

3学期は、年長組に続き、年中・少組の表現参観があります。12月にいるか組の素敵な劇を参観して、こあら組もひよこ組も自分たちの出番を楽しみにしていることと思います。多くの観客の前で自分を表現することは、恥ずかしさもあり勇気のいることです。しかし、自分の価値を他者から認められ成長できる絶好の機会です。いるか組さんのようにチームワークを大切にし、互いに励まし合いながら進めていけたらと思います。2学期にはたくさん成長が見られた園児たちです、さらなる飛躍を期待します。

今月の保育のねらい

<3歳児:ひよこ組>

- ・室内や戸外で、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・遊びの中でいろいろなイメージを膨らませながら、ごっこ遊びを楽しむ。



<4歳児:こあら組>

- ・自分なりに表現したり、友達と一緒に表現したりしながら、学級で一つのことに取り組む楽しさを感じる。
- ・様々な遊びに興味をもち、友達とイメージやルールを共有して遊ぶことを楽しむ。

<5歳児:いるか組>

- ・自分なりの目標をもち、繰り返したり試したりしながら力を発揮しようとする。
- ・園生活に見通しをもち、自分から進んで遊びや活動に取り組む。